|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 元請確認欄 |  |  |

**危険性又は有害性の特定標準モデル**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 作 業 名 | ピット内配管作業 | 使用設備・機械 | ・送風機（風管共）　　・酸素（硫化水素）濃度測定器・衝立（バリケード）　　・掲示板　　・パイプ製手摺　　・可搬式作業台 |
| 施工会社名 |  | 使用工具・機器 | ・電動ドリル　　・電工ドラム　　・延長コード　　・仮設照明器具　　・ハンマー・ねじ切り旋盤　　・バンドソー　　・高速カッター　　・振動ドリル |
| 工　法　等 |  | 安全設備・保護具 | ・空気呼吸器　　・安全靴　　・安全帯　　・保護帽　　・親綱　　・昇降梯子　　・養生蓋・安全標識　　・保護めがね　　・KYボード　　・懐中電灯 |
| 工　事　名 |  | 使用資材 | ・配管材料　　・接合材　　・つりバンド　　・つりボルト |
| 作業期間 | 令和　　年　　月　　日 ～ 令和　　年　　月　　日 | 作業に必要な資格と配置予定者 | ・酸素欠乏危険作業主任者　１、２種：・酸素欠乏危険作業特別教育修了者　１、２種：・研削といし特別教育修了者： |
| 担当職長名 |  |
| 作成年月日 | 令和　　年　　月　　日作成 | 施工会社・関係者周知記録（サイン） | 令和　　年　　月　　日 |
| 改訂年月日 | 令和　　年　　月　　日改訂 |
| 作成責任者 |  | 打合せ事項確認事項等 | ・濃度記録用紙　　・図面　　・工程仕様 |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 評価 | 危険有害要因の評価基準 | 危険度 |
| ６ | 抜本的な対応が必要 | ５ |
| ５ | 即座に対策が必要 | ４ |
| ４ | 何らかの対策が必要 | ３ |
| ３ | 現時点で対策の必要なし | ２ |
| ２ | 極めて小さい（受け入れ可能） | １ |

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 安全対策の評価 | 効　果実現性 | 大 | 中 | 小 |
|
| ３ | ２ | １ |
| 困　難 | ３ | ６ | ５ | ４ |
| 努力すれば可能 | ２ | ５ | ４ | ３ |
| 可　能 | １ | ４ | ３ | ２ |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 評価 | 危険有害要因の評価基準 | 危険度 |
| ６ | 極めて大きい（受け入れ不可能） | ５ |
| ５ | かなり大きい（受け入れ不可能） | ４ |
| ４ | 中程度（受け入れ可能） | ３ |
| ３ | 小さい(許容範囲内) | ２ |
| ２ | 極めて小さい（受け入れ可能） | １ |

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 危険の見積り | 重大性可能性 | 極めて重大(死亡・障害) | 重　大大けが(休業４日以上) | 軽微打撲・切傷(休業３日以下) |
|
| ３ | ２ | １ |
| 発生の確率は高い（半年に１回程度） | ３ | ６ | ５ | ４ |
| 時々発生する（２～３年に１回程度） | ２ | ５ | ４ | ３ |
| 発生の確率は低い（５年以上に１回程度） | １ | ４ | ３ | ２ |

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 作業工程 | 作業の順序 | 危険性又は有害性の特定 | 危険の見積り | リスク低減措置 | 危険性又は有害性に接する人 | 安全対策の評価 | 備　　　考 |
| 可能性 | 重大性 | 評　価 | 危険度 | 実効性 | 効　果 | 評　価 | 危険度 |
| １　準備 | １）作業前のミーティング・安全常会の実施 | ・混在作業 |  |  |  |  | ・安全打合せでの調整・決定事項を全員に周知する | 職　長 |  |  |  |  | 安全常会　作業手順KY・現地で行う予想される危険　→　対策 |
| ・作業の範囲、方法、手順、安全対策を確認する | 職　長 |
| ・健康状態の確認 | ・体調不良 | ・顔色を見、健康を問いかけ適正配置を行う | 職　長 |
| ・保護具、服装の確認 | ・不良による災害 | ・適正な保護具の使用 | 職　長 |
| ・長袖他適正な服の着用 | 職　長 |
| ・有資格者の確認 | ・無資格者作 | ・有資格者による適正配置を行う | 職　長 |
| ・作業手順KY | ・KY未実施 | ・作業グループ毎に現地で行う | 職　長 |
| ２）資材・機材の確認 | ・不良機材による事故 | ・点検して不良品を取り除く | 職　長 |
| ３）機械工具の確認 | ・電動工具による手足の裂傷・不良機械工具による不測の事故 | ・機械工具の使用前点検酸素濃度測定器、送風機空気呼吸器、仮設照明懐中電灯、昇降梯子等 | 職　長 |
| ・絶縁不良による感電 | ・電動工具の絶縁測定 | 職　長 |
| ・３芯コンセントの確認 | 職　長 |
| ４）作業床・周辺の点検 | ・つまずきによる転倒 | ・作業床整備、周辺の片付け | 作業者 |
| ５）関係者以外の立入り禁止 | ・部外者の立入り | ・バリケード等の立入り禁止処置と表示を行う | 職　長 |

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 作業工程 | 作業の順序 | 危険性又は有害性の特定 | 危険の見積り | リスク低減措置 | 危険性又は有害性に接する人 | 安全対策の評価 | 備　　　考 |
| 可能性 | 重大性 | 評　価 | 危険度 | 実効性 | 効　果 | 評　価 | 危険度 |
| ２　環境測定、換気、施設確認 | １）作業表示を明確にする・開口部の養生 | ・墜落 |  |  |  |  | ・マンホール衝立四方に設置「関係者以外立入り禁止」の表示をする | 職　長 |  |  |  |  |  |
| ・ピット内作業者氏名看板を設置する | 職　長 |
| ・深さ1.8ｍ以上の場合衝立にかえてパイプ製手すりを設置 | 職　長 |
| ２）マンホールを開ける | ・挟まれ | ・重量がある蓋は二人作業 | 作業者 |
| ・酸欠 | ・酸欠空気の吸引防止 | 作業者 |
| ３）酸素濃度測定 | ・酸欠 | ・測定は３点以上 | 作業主任者 |
| ・センサーの有効期限確認 | 作業主任者 |
| ・酸素濃度18％以上の確認 | 作業主任者 |
| ・18％以下の場合立入り禁止と元方へ連絡する | 作業主任者 |
| ４）測定結果記録 |  | ・記録は３年間保存 | 作業主任者 |
| ５）換気をする | ・酸欠 | ・入場30分前より実施する | 作業主任者 |
| ・作業中は換気を継続する | 作業主任者 |
| ・作業場所に空気が流れるように換気する | 作業主任者 |
| ・感電 | ・アース付３芯コードを使用する | 作業主任者 |
| ・コードに行先表示をつける | 作業主任者 |
| ・分電盤にスイッチ切断禁止表示する | 作業主任者 |
| ６）入場者の確認 |  | ・ピット内作業者氏名記入 | 作業主任者 |
| ・作業は特別教育修了者とする | 作業主任者 |
| ７）作業場所に出入りする | ・墜落  | ・昇降設備の固定 | 作業主任者 |
| 酸素欠乏危険場所の作業・昇降設備は固定して使用する・バリケードを行う・1.8ｍ以上の深さの場合はパイプ手摺りとする・関係者以外立入禁止の表示をする・監視員を配置する |

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 作業工程 | 作業の順序 | 危険性又は有害性の特定 | 危険の見積り | リスク低減措置 | 危険性又は有害性に接する人 | 安全対策の評価 | 備　　　考 |
| 可能性 | 重大性 | 評　価 | 危険度 | 実効性 | 効　果 | 評　価 | 危険度 |
| ４　後片付け | １）ピット内より昇降設備を片付ける | ・転落 |  |  |  |  | ・安全帯を使用する・ | 作業者 |  |  |  |  |  |
| 指定場所に片付ける | 作業者 |
| ２）マンホールを閉める | ・挟まれ | ・重量のある蓋は二人作業で行う | 作業者 |
| ３）送風機・酸素濃度測定器を片付け | ・感電 | ・測定器は丁寧に扱う | 作業者 |
| ・指定場所に片付ける | 作業者 |
| ４）衝立を片付ける | ・挟まれ | ・声を掛け合う | 作業者 |
| ・指定場所に片付ける | 作業者 |
| ５）作業終了の報告 |  | ・全員の退場を確認する | 職　長 |
| ・事務所に作業終了の報告をする | 職　長 |
|  |